

[単位: 千円]

## 2 福祉, 医療, 子育て支援, 教育などの充実

38項目 2,420,900

### <保健福祉局>

#### ①多様な保育サービスの拡充 12,300

##### ◆延長保育の拡充 6,800

実施箇所 188→192か所

全体事業費 584百万円

(局配分枠577百万円, 政策的新規・充実事業予算枠7百万円)

##### ◆一時保育の拡充 4,900

実施箇所 48→50か所

全体事業費 153百万円

(局配分枠148百万円, 政策的新規・充実事業予算枠5百万円)

##### ◆病児・病後児保育の拡充 600

実施箇所 病児保育(病後児併設型) 2→3か所

病後児保育 4→3か所

全体事業費 57百万円

(局配分枠56百万円, 政策的新規・充実事業予算枠1百万円)

[保健福祉局 保育課 TEL 251-2390]

#### ②保育所整備助成 414,200

(新設) 3か所

・「西大路保育園(仮称)」

定員 90人

場所 下京区七条御所ノ内南町

助成総額 125百万円

・「清明保育園(仮称)」

定員 90人

場所 右京区西院清水町

助成総額 125百万円

(2 福祉, 医療, 子育て支援, 教育などの充実)

[単位: 千円]

- ・「川西保育園 (仮称)」  
定員 90人  
場所 西京区桂良町  
助成総額 125百万円

(老朽改築及び耐震化) 1か所

- ・「中臣保育園」  
定員 90→95人  
場所 山科区西野山中臣町  
助成総額 135百万円 (25~26年度2年計画事業)

全体事業費 661百万円 (うち政策的新規・充実事業予算枠414百万円)

[保健福祉局 児童家庭課 TEL 251-2380]

### ③学童クラブ事業等の実施時間拡大 23,600

就労形態の多様化等による保護者ニーズを踏まえ、放課後等の子どもたちの安心安全な居場所を確保するとともに、保護者の就労を支援するため、土曜日及び小学校の長期休業期間中の学童クラブ事業及び放課後ほっと広場事業の開始時刻を30分間前倒しする。

実施時間 8時30分~18時30分 → 8時~18時30分  
実施時期 25年4月

[保健福祉局 児童家庭課 TEL 251-2380]

### ④地域学童クラブ事業の拡充 5,600

地域学童クラブ事業以外の放課後児童施策で対策を講じることが困難な地域において、新たに2か所で補助を行う。

実施箇所 10→12か所  
全体事業費 34百万円

(局配分枠28百万円, 政策的新規・充実事業予算枠6百万円)

[保健福祉局 児童家庭課 TEL 251-2380]

### ⑤子育て支援活動いきいきセンター (つどいの広場) の拡充 5,700

実施箇所 29→32か所  
全体事業費 132百万円

(局配分枠126百万円, 政策的新規・充実事業予算枠6百万円)

[保健福祉局 児童家庭課 TEL 251-2380]

[単位: 千円]

⑥子ども医療費支給事業 (通院医療費の窓口での自己負担額の現物給付化)

50,400

3歳から小学校6年生までの通院医療費の窓口での自己負担額について, 利便性の向上を図るため, 1医療機関1か月当たり3千円までとする現物給付を実施するためのシステム改修等を行う。

充実内容 通院医療費の支給方法 (3歳から小学校6年生まで)

窓口での自己負担額が1か月3千円を超える額について, 申請による払い戻し (償還払い)

→窓口での自己負担額を1医療機関1か月3千円まで (現物給付)

実施時期 25年9月

全体事業費 1,824百万円

(局配分枠1,774百万円, 政策的新規・充実事業予算枠50百万円)

[保健福祉局 地域福祉課 TEL 251-1175]

⑦障害児保育対策の充実

112,000

民間保育所及び昼間里親における障害児保育の充実を図るため, これまでの書類審査による判定に加え, 心理士等専門職による訪問調査を行い, より実態に即した障害児の受入状況を把握することにより, 必要な職員加配を行う。

全体事業費 589百万円

(局配分枠477百万円, 政策的新規・充実事業予算枠112百万円)

[保健福祉局 保育課 TEL 251-2390]

⑧父子家庭への支援施策の拡充

110,800

◆ひとり親家庭等医療費支給事業の拡充

104,000

母子家庭の母子等の健康の保持と福祉の増進のために実施している母子家庭等医療費支給事業において, 制度対象となっていない父子家庭の父子等についても制度対象に加える。

実施時期 25年8月

全体事業費 1,219百万円

(局配分枠1,115百万円, 政策的新規・充実事業予算枠104百万円)

[保健福祉局 地域福祉課 TEL 251-1175]

[単位: 千円]

◆ひとり親家庭自立支援対策の拡充 6,800

母子家庭の母の継続的な自立を支援するために実施している高等技能訓練促進費等事業及び自立支援教育訓練給付金事業において, 制度対象となっていない父子家庭についても制度対象に加える。

全体事業費 284百万円

(局配分枠277百万円, 政策的新規・充実事業予算枠7百万円)

[保健福祉局 児童家庭課 TEL 251-2380]

⑨母子生活支援施設整備助成 41,600

(大規模改修) 1か所

・「野菊荘」

場 所 右京区山ノ内宮脇町

助成総額 139百万円 (25～26年度2年計画事業)

[保健福祉局 児童家庭課 TEL 251-2380]

⑩放課後等デイサービス等設置促進事業の拡充 10,000

障害児を対象とする放課後等デイサービス等を実施する事業所の開設に当たり, 事業所借上げに要する初期経費や初度調弁費, その他必要な改修経費等に対して助成を行う設置促進事業について, 実施件数を拡充する。

実施予定期間 25～27年度 (設置誘導策として実施)

全体事業費 20百万円 (うち政策的新規・充実事業予算枠10百万円)

[保健福祉局 障害保健福祉推進室 TEL 222-4161]

⑪障害者生活介護事業所等整備助成 155,700

◆障害者生活介護事業所 134,200

(新設) 2か所

・「久世障害デイサービス・ショートステイ (仮称)」

定 員 25人 (短期入所6人併設)

場 所 南区久世上久世町

助成総額 71百万円

・「なごみデイサービス (仮称)」

定 員 20人 (短期入所2人併設)

場 所 伏見区竹田北三ツ杭町

助成総額 63百万円

[単位: 千円]

◆障害者共同生活介護事業所及び共同生活援助事業所 (一体型)

21,500

(新設) 1 か所

・「西陣工房GH・CH (仮称)」

定 員 7人

場 所 北区大將軍川端町

助成総額 22百万円

[保健福祉局 障害保健福祉推進室 TEL 222-4161]

⑫「ほほえみネット」(障害児放課後支援・通学支援)実施に係るシステム改修  
18,900

障害者の外出支援を行う移動支援事業を活用し, 少人数のグループ単位での障害児への放課後支援や保護者が就労しているひとり親家庭等を対象とした通学支援を行う「ほほえみネット」の実施に当たって必要となるシステム改修を行う。

事業開始時期 25年10月

[保健福祉局 障害保健福祉推進室 TEL 222-4161]

⑬障害者基幹相談支援センターの設置  
29,000

障害者等に対する相談支援や地域の指定相談支援事業所等への助言・指導等を総合的に行う中核的機関として, 「障害者基幹相談支援センター」を新たに設置する。

設置箇所数 5か所 (既存の障害者地域生活支援センターに機能付加)

設置時期 25年4月

[保健福祉局 障害保健福祉推進室 TEL 222-4161]

⑭ほほえみ交流活動支援事業  
2,000

手話や車いすなどの障害体験講習会など障害や障害者への理解促進を図る「ほほえみ交流活動 (福祉教育事業)」を学校と共同で実施する障害者団体に対して, 開催に要する経費の助成等を行う。

[保健福祉局 障害保健福祉推進室 TEL 222-4161]

[単位: 千円]

⑮介護基盤整備助成 338,000

◆特別養護老人ホーム建設助成 125,000

(新設) 1か所

・「第2市原寮 (仮称)」

定員 100人

場所 左京区静海市原町

助成総額 310百万円 (25~26年度2年計画事業)

◆地域密着型特別養護老人ホーム建設助成 158,400

(新設) 1か所

・「東旺苑サテライト (仮称)」

定員 29人 (短期入所10人併設)

場所 山科区川田御出町

助成総額 158百万円

◆小規模多機能型居宅介護拠点建設助成 3,000

(新設) 1か所

・「長啓会桃山 (仮称)」

(認知症高齢者グループホーム18人併設)

場所 伏見区桃山町泰長老

助成総額 3百万円 (開設準備経費)

◆認知症高齢者グループホーム建設助成 51,600

(新設) 2か所

・「洛和グループホーム百万遍 (仮称)」 (移転新築)

定員 9→18人

場所 左京区田中門前町

助成総額 41百万円

・「長啓会桃山 (仮称)」

定員 18人 (小規模多機能型居宅介護拠点併設)

場所 伏見区桃山町泰長老

助成総額 11百万円 (開設準備経費)

全体事業費 579百万円 (うち政策の新規・充実事業予算枠338百万円)

[保健福祉局 長寿福祉課 TEL 251-1106]

[単位: 千円]

⑯ ～地域で気づき・つなぎ・支える～ 認知症総合支援事業 14,200

認知症の早期発見・早期相談・早期診断の支援に対応するため, 高齢サポート(地域包括支援センター)等の相談対応能力の向上を図るとともに, 地域における医療・介護等関係機関との連携体制構築に向けた取組支援及び認知症についての市民啓発等, 地域全体で認知症の人やその家族を支え合う取組を進める。

[保健福祉局 長寿福祉課 TEL 251-1106]

⑰生活保護受給者に対する自立支援の充実 44,900

◆チャレンジ就労体験事業 13,400

生活保護受給者の抱える自立への課題を克服するためのステップアップの場として, 社会参加活動や居場所づくりを目的とした就労体験の場を提供することで社会参加意欲, 就労意欲の醸成を図る。

◆生活保護就労意欲喚起等支援事業 20,100

生活保護受給者のうち, 就労意欲そのものが減退してしまっている等, 就労に向けた課題を多く抱えている方を対象に実施している「就労意欲喚起等支援事業」について, キャリアカウンセラーの配置回数を拡充する。

全体事業費 171百万円

(局配分枠151百万円, 政策的新規・充実事業予算枠20百万円)

◆生活保護心理ケア相談支援モデル事業 11,400

精神障害等により, 日常生活, 社会生活上の様々な課題を抱える被保護者等に対し, 精神保健福祉士等の資格を有する者が相談援助業務を実施することで自立に向けた支援の充実を図る。

25年度は, 24年度に引き続きモデル事業として, 3か所の福祉事務所において新たに配置する。

全体事業費 15百万円

(局配分枠4百万円, 政策的新規・充実事業予算枠11百万円)

[保健福祉局 地域福祉課 TEL 251-1175]

[単位: 千円]

⑱生活保護適正化推進事業の充実 13,400

警察OB職員をはじめとした告発分野におけるノウハウを有する者を適正化推進支援員として追加採用するほか、夜間訪問による督促を開始するなど、悪質な不正受給事案の調査や滞納債権の回収に係る実施体制の強化を図る。

全体事業費 49百万円

(局配分枠36百万円, 政策的新規・充実事業予算枠13百万円)

[保健福祉局 地域福祉課 TEL 251-1175]

⑲ホームレス地域サポート支援事業の充実 2,000

ホームレス等が地域社会で自立し、安定した生活を営めるよう支援するため、路上生活から脱却した元ホームレス等の地域定着支援や再路上化防止支援を実施する民間団体等への助成を行う「ホームレス地域サポート支援事業」について、現にホームレス状態にある者にも対象を拡大し、居宅生活への移行を推進する。

全体事業費 4百万円

(局配分枠2百万円, 政策的新規・充実事業予算枠2百万円)

[保健福祉局 地域福祉課 TEL 251-1175]

⑳京都動物愛護センター(仮称)の設置 268,100

動物を通じて命の大切さを感じ、人と動物の正しい関わり方を学ぶとともに、人づくり・環境づくりを通じて人と動物の共生を推進するための拠点施設として、全国初となる都道府県・政令指定都市共同での設置運営による「京都動物愛護センター(仮称)」を整備する。

◆京都動物愛護センター(仮称)整備事業 267,000

施設概要 本体施設(京都動物愛護センター(仮称))  
付帯施設(ドッグラン, 動物ふれあい広場)

整備場所 南区上鳥羽仏現寺町

整備年度 25年度~26年度

開所予定 26年度中

総建設費 575百万円



(2 福祉, 医療, 子育て支援, 教育などの充実)

[単位: 千円]

◆京都動物愛護センター(仮称) プレ事業 1,100

平成26年度の開所に向けて,センターにおける事業運営をより円滑に行うため,ボランティアスタッフの育成等を府市一体となって実施し,センター運営に係る体制の整備を図る。

全体事業費 268百万円

局配分枠	100千円(プレ事業)
政策的新規・充実事業予算枠	268,100千円

[保健福祉局 保健医療課 TEL 222-3411]

⑪中央斎場再整備事業 19,800

供用開始後30年以上を経過し,老朽化が進んでいる中央斎場について,「京都市中央斎場のあり方検討委員会」からの提言を踏まえ,将来の需要増加への対応やサービス向上等のための施設整備を行う。

25年度は,施設の拡充に向けた設計を行う。

整備内容 収骨室の増設,レストラン設置,耐震改修 など

年次計画 25年度 設計

26~27年度 整備

[保健福祉局 生活衛生課 TEL 222-3433]

⑫福祉人材確保対策事業 2,600

保育所・児童館の職場としての魅力をPRし,意欲的に働く人材を確保することを目的とする就職フェアを開催するとともに,本事業の開催を通じて,人材確保に関する養成校との一層の連携を図る。

併せて,福祉職場の人材確保を推進するために,福祉職場就職フェアに出展する高齢者,障害のある方及び児童の各福祉職場の採用担当者等を対象とした研修を実施するとともに,福祉職場就職フェア後に,学生等が福祉職場を見学できる取組として,「福祉職場オープンウィーク」を実施する。

[保健福祉局 保育課 TEL 251-2390]

[保健福祉局 児童家庭課 TEL 251-2380]

[保健福祉局 長寿福祉課 TEL 251-1106]

[保健福祉局 障害保健福祉推進室 TEL 222-4161]

[単位: 千円]

【局配分枠における主な新規・充実事業(保健福祉局)】

[新規事業]

◇保育士等処遇改善臨時特例事業	550,000
◇一時保護児童の学習環境の充実	6,900
◇各分野における次期計画の策定・調査	児童・母子保健分野: 15,615 高齢分野: 7,500 地域福祉分野: 2,880

[充実事業]

◇命の大切さと生きる勇気・力を取り戻すための支援の充実	全体事業費 23,737 (うち充実分 1,500)
◇高齢者筋力トレーニング普及推進事業	全体事業費 3,267 (うち充実分 355) ※介護保険事業特別会計では全体事業費 26,136 (うち充実分 2,838)
◇先天性代謝異常等検査	全体事業費 34,310 (うち充実分 3,990)

<教育委員会>

㊸学校図書館活用促進事業 50,000 (再掲)

27年度までに司書資格等を有する「学校図書館運営支援員」を全校に派遣できるよう拡充を図るとともに, 学校図書館の学習環境の充実及び林業振興に資するよう, 京都市地域産材「みやこ杣木」を使用した閲覧机・椅子等の計画的な整備を行う。

◆「学校図書館運営支援員」の拡充

派遣予定校数 78→155校

全体事業費 73百万円

(局配分枠30百万円, 雇用対策事業特別会計43百万円)

◆学校図書館の備品整備 (再掲) 50,000

[教育委員会事務局 調査課 TEL 222-3772]  
[教育委員会事務局 学校指導課 TEL 222-3806]  
[産業観光局 林業振興課 TEL 222-3346]

[単位: 千円]

㊸学校増収容対策 (御所南小学校整備) 194,600

御所南小学校においては, 近年児童数が著しく増加しており, 24年度は1,200人を超え, 今後も増加する見込みである。

しかしながら, 現在の学校敷地では校舎の増築は困難であることから, 24年12月に地元から提出された要望書を受け, 7年度の御所南小学校への統合により学校跡地となっている元春日小学校敷地において, 新校舎の整備に着手する。

年次計画	25年度	基本計画策定, 基本設計及び実施設計着手
	26年度	元春日小学校解体工事着工, 新校舎工事着工
	28年度以降	新校舎竣工・供用開始

[教育委員会事務局 教育環境整備室 TEL 222-3796]

㊹錦林小学校・新洞小学校統合整備 41,100

新洞小学校については, 24年7月に地元から提出された要望書を受けて, 25年4月に錦林小学校へ統合する。

統合に当たり, 児童の教育環境を充実するため, 錦林小学校の改修及び物品の整備を行う。

[教育委員会事務局 教育環境整備室 TEL 222-3796]

㊺学校トイレ整備の推進 73,200

学校施設の環境改善のため, 学校トイレ整備の充実を図る。

整備に当たっては, 早期かつ効率的に洋式化を図る方法について, 学校の要望等を踏まえて検討し, 推進する。

全体事業費 366百万円

(局配分枠293百万円, 政策的新規・充実事業予算枠73百万円)

[教育委員会事務局 教育環境整備室 TEL 222-3796]

㊻市立高校「かがやきプラン」～魅力あふれる学校づくり～ 74,300

◆魅力あふれる学校づくりに向けた取組 55,000

生徒の多様な進路希望に柔軟に応えらるとともに, より多くの高校から希望する高校を選択できるよう, 普通科の「類・類型制度」の廃止や, 通学区域の1通学圏化, 総合選抜制度の廃止など公立高校の教育制度を見直す。

そこで, 市立高校において, 進路保障や資格取得等に向けた特色あふれる取組の一層の充実を図り, より魅力的な学校づくりを推進する。

(2 福祉, 医療, 子育て支援, 教育などの充実)

[単位: 千円]

◆日吉ヶ丘高校リニューアル整備 19,300

日吉ヶ丘高校は, 市立高校の中で最も老朽建物の占める割合が高く, その教育環境の充実に向けた施設の全面改修(リニューアル)に着手する。

年次計画 25年度 基本計画  
26年度 設計, 改修工事  
27年度 改修工事

[教育委員会事務局 教育環境整備室 TEL 222-3796]

[教育委員会事務局 学校指導課 TEL 222-3811]

㊸グローバルコミュニケーション力育成プロジェクト 41,200

小学校での英語活動新設や中学校における授業時間数の増加などの新学習指導要領を踏まえ, 小・中・高等学校の英語教育の充実を図るため, 外国人指導助手(ALT)を10名増員し, 48名とする。

全体事業費 198百万円

(局配分枠157百万円, 政策的新規・充実事業予算枠41百万円)

[教育委員会事務局 学校指導課 TEL 222-3806]

㊹いじめ・不登校対策の充実 24,200

◆スクールカウンセラー配置拡大 20,900

全国的に極めて大きな教育課題とされているいじめのみならず, 小学校から中学校にかけて増加する不登校や問題行動等に対し, 早期発見, 早期対応や未然防止を図るため, 全校配置が完了している中学校, 高等学校及び総合支援学校に引き続き, 小学校においても計画的にスクールカウンセラーの配置拡大を進め, 27年度までの全校配置を目指す。

派遣予定校数 小学校57→95校

全体事業費 187百万円

(局配分枠166百万円, 政策的新規・充実事業予算枠21百万円)

(2 福祉, 医療, 子育て支援, 教育などの充実)

[単位: 千円]

◆スクールソーシャルワーカー配置拡大 3, 300

いじめや不登校等の教育課題に対し, これまでの学校の取組に加え, その背景にまで踏み込んだ対応や, 児童相談所など関係機関との一体となった取組が求められていることから, 社会福祉等の専門的な知識・技術を有するスクールソーシャルワーカーについて, 27年度の配置人員倍増を目指し, 計画的な配置拡大を行う。

配置人員 8→11名

全体事業費 13百万円

(局配分枠10百万円, 政策的新規・充実事業予算枠3百万円)

[教育委員会事務局 生徒指導課 TEL 213-5622]

⑩宝が池スポーツ広場グラウンド改修 63, 600

宝が池スポーツ広場グラウンドは, 昭和63年に整備されて以降, 子どもたちのスポーツ活動の拠点としての役割を果たしているが, 長年の風雨等の影響により陥没や大粒の石が散在する等, 活動に重大な支障が出かねない状況があるため, 改修工事を行う。

[教育委員会事務局 体育健康教育室 TEL 708-5322]

⑪「古典の日」法制化を契機とした伝統文化体験の充実 6, 000

24年9月に施行された「古典の日に関する法律」を推進するため, 若い世代から伝統文化に親しみ, 日本の心を伝える古典の振興に資するよう, 児童配布教材の充実や専門家の学校への派遣など, 学校教育活動における伝統文化体験の充実を図る。

全体事業費(「古典の日」関連事業) 21百万円

局配分枠

8百万円(古典の日推進委員会負担金:文化市民局)

2百万円(古典の日記念事業「古典の祭典」など:教育委員会)

政策的新規・充実事業予算枠

5百万円(二条城で楽しむ古典芸能(仮称):文化市民局(後掲))

6百万円(「古典の日」法制化を契機とした伝統文化体験の充実

:教育委員会)

[文化市民局 文化芸術企画課 TEL 366-0033]

[教育委員会事務局 学校指導課 TEL 222-3806]

[単位: 千円]

⑫総合教材ポータルサイトによる教育情報発信事業 9,200

教職員の研修施設である総合教育センターで実施した研修映像や各学校における良質な公開授業等を収録し, 指導主事による解説などを加えた映像研修資料を作成するとともに, 授業で活用できる教材などと合わせて配信できるよう, 「総合教材ポータルサイト」の機能充実を図る。

[教育委員会事務局 総合教育センター研修課 TEL 371-2340]

【局配分枠における主な新規・充実事業(教育委員会)】

[新規事業]

- ◇「京都市子ども読書活動推進計画」の次期計画策定 3,736
- ◇学校安全の手引改訂 700
- ◇生涯学習市民フォーラム設立20周年記念シンポジウム(仮称)開催 980

<文化市民局>

⑬DVに悩む男性のための電話相談及び教職員を対象としたDV予防講座

1,000

ウィングス京都における相談事業に加え, 23年10月には「京都市DV相談支援センター」を開所し, 女性被害者を支援している。

25年度は, 男性被害者や男性加害者の受け皿として, 男性カウンセラーによる「DVに悩む男性のための電話相談(仮称)」専用窓口を開設し, 男性のDV相談を充実するとともに, DV予防の取組として, 幼稚園・保育所から大学まで広く教育関係者を対象に, DVに関する専門的な講義及び教育現場における相談事例や対応方法を学ぶ連続講座を実施する。

全体事業費 56百万円

(局配分枠 55百万円, 政策的新規・充実事業予算枠1百万円)

[文化市民局 男女共同参画推進課 TEL 222-3091]

[単位: 千円]

㊸街頭防犯カメラ設置促進補助事業の充実

27,200

24年度に創設した街頭防犯カメラ設置促進補助事業において、申請件数及び台数が51件、176台と予想を大きく上回ったため、これらの地域団体の需要に応えることができるよう、25年度からの2か年にわたり予算額を約110台分充実し、約150台分とする。

補助対象 地域団体

補助率 機器購入及び取付に要する費用の90%

補助上限 1台当たり27万円

全体事業費 39百万円

(局配分枠12百万円, 政策的新規・充実事業予算枠27百万円)

[文化市民局 暮らし安全推進課 TEL 222-3193]

㊹TSマークの普及・促進

4,500

自転車の点検・整備の必要性及び自転車損害賠償保険等への加入の重要性を広く認識していただくため、点検・整備及び保険双方の機能を有する「TSマーク」の貼付の普及を図る。

具体的には、自転車免許証の発行を伴う自転車教室を受講した小学生等を対象として、京都府自転車軽自動車商協同組合との連携により、自転車の点検及びTSマークの貼付を100円程度(通常1,500~2,000円)で受けられるチケットの発行を試行実施し、その効果を検証する。

[文化市民局 暮らし安全推進課 TEL 222-3193]

【局配分枠における主な新規・充実事業(文化市民局)】

[新規事業]

◇新島八重に学ぶ「男女共同参画」連続講座(仮称) 1,000

◇ピアサポーター養成・派遣事業 1,500

[単位: 千円]

## <消防局>

### ⑯ 京北消防ヘリポート (仮称) の整備 44,000

京北地域の救急救命体制の向上, とりわけ, 京北病院との連携強化を図る目的から, 夜間の離発着が可能なヘリポートを整備する。

25年度は, 24年度の実施設計に基づき, ヘリポート, 取付道路等の整備を行う。

場所 右京区京北塩田町 (「合併記念の森」南東部)

[消防局 庶務課 TEL 212-6635]

### ⑰ 119番通報等における多言語通訳体制の確保 2,000

外国人観光客や留学生など日本語を介してのコミュニケーションが困難な方に対する災害対応を円滑に行うため, 電話同時通訳サービスを用いた24時間365日対応可能な通訳体制を確保する。

[消防局 庶務課 TEL 212-6635]

## <交通局>

### ⑱ 地下鉄烏丸線可動式ホーム柵整備事業 120,000

地下鉄烏丸線ホームでの軌道への転落事故や列車との接触事故を未然に防止し, お客様により安心して地下鉄をご利用いただけるよう, お客様が多い烏丸御池駅, 四条駅, 京都駅に可動式ホーム柵を整備する。25年度は, 実施設計を行った後, 柵の製作に着手する。

[交通局 営業課 TEL 863-5213]

[交通局 技術監理課 TEL 863-5216]